

これからの内部通報システム

～消費者庁ガイドラインの改正、公益通報者保護法の改正論議を踏まえて～

2006年4月に公益通報者保護法が施行された後も企業不祥事は絶えることがなく、公益通報者に対する不利益取扱いが行われた事例も多く生じていることを受け、消費者庁は2016年12月に民間事業者向けガイドラインを大幅に改正し、将来的には公益通報者保護法を改正しようとしています。このような中、内部通報制度を含めた内部通報に関する取組みを充実させることは企業にとって極めて重要な課題であり、より深度ある取組みを実践している企業も現れています。本シンポジウムは、取組みのポイントを理解していただくために開催するものであり、企業の法務・コンプライアンス担当者はもちろん、経営者、社外取締役や監査役、総務・人事・内部監査等の内部通報制度の関連部門の担当者、弁護士（社内外を問わず）、行政機関、メディア等、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日 時： 2017年10月30日（月）午後2時～4時30分（受付開始：午後1時30分）

場 所： 三井住友銀行東館 ライジング・スクエア SMBC ホール

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-3-2 TEL：03-6706-9020 FAX：03-3211-0193

地下鉄「大手町駅」C14出口直結 <https://www.rising-square.jp/floor03.html>

参加費： 無料

概 要： 第1部 基調講演

山口利昭 「公益通報に対する企業の向き合い方」（仮）

奥山俊宏 「マスコミから見た公益通報と企業に求められる姿勢」（仮）

第2部 パネルディスカッション

「これからの内部通報システムを考える」

パネリスト 山口利昭（山口利昭法律事務所 代表弁護士）

奥山俊宏（朝日新聞編集委員）

秋山をね（株式会社インテグレックス 代表取締役社長）

中原健夫（弁護士法人ほくと総合法律事務所 代表弁護士）

司 会 結城大輔（のぞみ総合法律事務所 パートナー弁護士）

論点解説 横瀬大輝（弁護士法人ほくと総合法律事務所 弁護士）

<パネリスト略歴>

山口利昭（山口利昭法律事務所 代表弁護士）

1990年弁護士登録 1995年4月山口利昭法律事務所開設 2015年6月消費者庁公益通報者保護制度検討会委員（現任） 著書「内部告発 内部通報—その光と影—」他

奥山俊宏（朝日新聞編集委員）

1989年朝日新聞入社 水戸支局・福島支局・東京社会部・大阪社会部等を経て特別報道部

著書「内部告発の力 公益通報者保護法は何を守るのか」「ルポ内部告発 なぜ組織は間違うのか」他

秋山をね（株式会社インテグレックス 代表取締役社長）

2001年6月株式会社インテグレックス（ホットラインやモニタリング等の提供）設立 代表取締役就任 2007年内閣府国民生活審議会臨時委員 著書「社会責任投資の基礎知識—誠実な企業こそ成長する」他

申 込： https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScxApGD-aMRnXskv7j-BQfqWRUDat6ezgbX2FHSKQmT_STa9A/viewform

または主催団体LRのウェブサイト（<http://lrm.or.jp/seminar/>）からお申し込みください。

主 催： 一般社団法人リーガル・リスクマネジメント研究機構（“LR”）（<http://lrm.or.jp/>）

共 催： 株式会社インテグレックス（<http://www.integrex.jp/>）

シンポジウムに関するお問合せ先： 結城大輔（yuki@nozomisogo.gr.jp tel:03-3221-2400）